

令和元年度 学力向上プラン

～全国学力・学習状況調査の分析結果を踏まえて～

本年度の努力目標

- (1) 学校規律・学習規律の徹底をめざし、当たり前のことを当たり前に行える児童を育成する。
- (2) 子どもが主体的・対話的に深く学ぶ、対話型授業を推進する。
- (3) 全国学力学習状況調査・国語に対応する活用の力を育成する。

努力目標達成のための具体的な研究方法

- (1) 「挨拶・掃除をする」「規律・時間を守る」「互いに違いを認め合う」「最後までやり遂げる」の4項目を重点課題に掲げ、学校全体で組織的に取り組む。
- (2) 国語科に重点を置き、対話型授業に向けた校内研究を実施する。
- (3) 国語科の問題の分析と自校分析結果を踏まえ、活用の力を育成する授業を意識する。

努力目標達成のための具体的な研究内容

- (1) 学校規律・学習規律の確立に努める。
 - ・4項目の重点課題に向け、全教職員が共通認識のもと取り組む。
 - ・学年内で学習規律が守られているか検証し、連携して指導にあたる。
 - ・各クラスで実践的研究に取り組む。
- (2) 「講義型授業」から「対話型授業」へ、児童・教師の意識改革、対話に導くスキルの向上を行う。
 - ・3年計画で「聴く・話す・対話」に重点を置き全校で取り組む(今年度が3年目)。
 - ・今年度は、「想いを受けとめ合い伝え合う」ことに重点を置き、次年度の学習指導要領本格実施に向けて取り組む。
 - ・「目・身体・心で 聴く・話す」を合言葉に、対話につながる温かい学級集団を育成する。
 - ・朝のスピーチタイムと帰りの会を、「対話タイム」の機会と設定し、全校で取り組む。
 - ・教職員の「対話に導くスキル」の向上を図る。
 - ・「聴き方」「話し方」「言葉の架け橋」教室掲示を統一し、児童が応用して活用できることを目指す。
 - ・相互授業参観による授業改善を行う。
 - ・授業ビデオ研究による授業改善を行う。
 - ・学年・学級の校内研究の進捗状況を共有し、組織的に取り組む校内体制を確立する。
- (3) 全国学力学習調査の実施問題について問題分析を全教職員で取り組む。
 - ・「活用」の力をつけるための授業づくりに取り組む。
 - ・朝学習(木)に国語の活用問題に対応した国語プリントに取り組む。
 - ・各学期終わり(7月・12月・2月)に「活用問題を攻略しよう」テストを実施する。
- (4) 上記以外に、前年度以前からの学力向上に関する本校の取り組み。
 - ・家庭学習の手引きに沿った自主学習を推進する。
 - ・自主学習ノートの取り組み(2・3・4・5・6年生)。
 - ・国語教科書教材の並行読書用図書(団体貸し出し)の活用と、調べ学習用の団体貸し出しの活用。
 - ・「子ども新聞コーナー」の設置と、お昼の放送で記事の紹介の取り組み。
 - ・「自分の力をのばそう」くもの巣アンケート(1・2・3学期)
 - ・読書アンケート(1・2・3学期)や読書週間による読書貯金通帳の取り組み。
 - ・ICT機器の効果的な活用を図る授業実践の推進。
 - ・語彙を増やす為の「言葉の宝箱」や「ことばのちから」を使った「あのね帳・テーマ作文」の取り組み。
 - ・長尾小音読スタンダード(自由読み・丸読み・1文交代読み・リレー読み・たけのこ読みなど)

保護者・地域との連携

- (1) 児童の健全育成のため、保護者に対して、学校だよりや学校ホームページ等を通じて、積極的な情報提供に努める。
- (2) 児童健全育成諸団体との連携を積極的に行い、落ち着いた教育環境の整備に努める。